

ダイヤモンド・プリンセス

正月が穏やかで暖かな日であったことがまるで嘘のような新型コロナウイルス騒ぎである。中国から始まったとの報道を聞いたとき「また、中国？」と思った。ダイヤモンド・プリンセスでの集団発生が問題となり、聞いたことがある名前と調べてみると長崎の造船所で火災が起きた姉妹船と名前が入れ替わったもの。なんと不運なことと思っただが、実は免れていた方の船だった。武漢からチャーター機で戻ったのに検査を受けなかった二人とばらまいてやると夜の街に繰り出した一人の非常識なことには呆れるばかり。各国の対応は様々で検査件数で一喜一憂や対応に右往左往している国が多い中、台湾の毅然とした態度と英国の大人の対応は印象深い。結果は両極端となった。興味深いのはポルトガルとスペインの違い。BCG接種を行うか否かの違いはあるそうだが、結論や如何に。国内の状況は予断を許さず、一度収まったようだが、北海道や北九州での再燃に心配しきり。同窓内にも対応に追われる方もあろう。結果的にそれで良かった、運が良かったとなってくれることを祈るばかりである。